

海軍公報

第千三百五號

大正六年一月六日(土)

海軍大臣官房

○通牒

官房第二〇號

大正六年一月六日

海軍次官 鈴木貫太郎

吳、佐世保鎮守府司令長官殿
各艦隊

外國船福音丸不開港場寄港ノ件出願ニ付別紙ノ趣旨ニ依リ許可方遞信大臣ノ照會ニ對シ管省主管上支障ナキ旨回答ノ末今般該免狀交付セラレタリ

(別紙)

第五百三十二號

不開港場寄港免狀

- 一船 名 福音丸
- 一國 籍 亞米利加合衆國
- 一類 類 帆船(發動機付)
- 一船主氏名及國籍 亞米利加浸禮外國傳道會社
- 一船長氏名及國籍 亞米利加合衆國人ル、
リユ、ビツケル
- 一噸 數 百五十噸

海軍公報第千三百五號

大正六年一月六日

0822

- 一 權ノ數 二本
- 一 網具ノ裝置 フリガンティン
- 一 回航ノ目的 布敦
- 一 航路 近海航路
- 一 寄港地 名 別紙ノ通

右不開港場へ寄港ヲ許可ス
本免狀有効期間ハ大正六年一月七日ヨリ大正六年三月六日迄トス但必要ノ節ハ同期間内ト雖モ其寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ
大正五年十二月二十八日
遞信大臣 男爵田 健治郎

(同裏面)

亞米利加浸禮外國傳道會社所有船福音丸
航行心得

- 一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ
- 二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應シ其檢査ヲ受クヘシ
- 三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スヘシ

カラス

四、前記ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ直ニ此免狀ヲ取消スヘシ

五、此免狀ノ期間満了シトキ又ハ免狀ヲ取消サレタルトキハ直ニ此免狀ヲ返納スヘシ

六、出帆前地方廳ノ檢關ヲ受クヘシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢關スルコトアルヘシ

福音丸寄港地名

管川縣

小豆島ノ内 土庄町、淵崎村、池田村、見目、草壁下村、安田村、阪字港

高松

豐島ノ内 家ノ浦

鹽飽本島ノ内 泊浦、大浦

鹽飽諸島ノ内 廣島汗ノ浦、同茂浦、同青木、同手島

直島

粟島

岡山縣

北木島ノ内 大浦、金風呂

笠岡

廣島縣

田島 因ノ島ノ内 重井村、田熊、土生、三庄村

江田島ノ内 小用

佐木島

高根島

生口島ノ内 瀬戸田町、東生口村原

大崎島ノ内 古江、木ノ江、御手洗

愛媛縣

弓削島ノ内 下弓削

生名島、岩城島

伯方島ノ内 木ノ浦、北浦、伊方

大三島ノ内 甘崎、瀬戸崎、盛口、宮ノ浦、野々江、宗方

中島ノ内 大浦、小濱、宇和間

睦月島、興居島

山口縣

屋代島ノ内 安下庄村、船越、外入、秋、鹿家、和田、小泊、平野、下田、浮島

長崎縣

上關、三田尻、柳井

壹岐國ノ内 郷ノ浦、若邊浦、勝本

平戸列島ノ内 平戸町、薄香

志々岐、糸屋

生月島、的山大島、宇久島、小値賀

五島列島ノ内 有川、鯛ノ浦、奈磨、若松島、奈留島、久賀島

佐賀縣

福江島ノ内 福江、奥ノ浦、富江、岐宿、白石、三井樂、大養、玉ノ浦

呼子、伊萬里灣

但軍港區域及要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ制限セラレタル區域ヲ除ク

○ 辭 令

特修兵ニ關スル調査委員長ヲ命ス 海軍少將 千坂智次郎

0823

(各通)

海軍大佐	筑土 次郎
海軍中佐	小山 武
同	井上 伊之吉
同	關 干城
同	和田 健吉
海軍少佐	山口 熊平
同	池田 他人
海軍機關中佐	山下 魏八郎
同	吉岡 保貞

特修兵ニ關スル調査委員ヲ命ス

海軍少佐 益子 六彌

英國駐在中自今加俸三千七百圓ヲ給ス(以上附海軍省)

○雜款

○外國出張

英國出張仰付ラントル造船監督官海軍機關大佐池田岩三郎ハ一月十五日午前十時十分東京驛發同日午後三時横濱出帆ノ日本丸ニテ米國經由渡英ノ豫定

○圖書

大正五年十二月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫) 和漢書ノ部

明治詔勅集

高木斐川選

大正四年

海法會誌

法學博士松波仁二郎編

大正五年

海軍公報第千三百五號 大正六年一月六日

工場法解説 西内才三著 同

少尉に於るまで 海軍少尉中島武著 同

大正三四海軍醫務衛生記録卷一 戰史編纂委員編 同

日本橋區史 日本橋區役所編 同

歐米の社會と日本の社會 小山照朗著 同

國體憲法及憲政 法學博士上杉慎吉著 同

政治汎論 米國ワッドロー、ワイルソン著 博士高田早苗譯 同

日本刑法 法學博士牧野英一著 同

日本先住民民族史 藤田相之助著 同

日本交通史論 日本歴史地理學會編 同

歐洲戰爭と獨逸食料政策 渡邊鐵藏著 同

起テ沖繩男子 高橋琢也著 同

沖繩産業十年計畫評 教育學術研究會編 同

米國研究 支那研究 文藝學博士服部宇之吉著 同

支那研究 比律賓群島 元田作之進著 同

植民地大鑑 深尾幸太郎論 同

書翰文講話及文範 文學博士芳賀矢一共編 同

日本帝國第三十五統計年鑑 內閣統計局編 同

海軍公報	海軍公報	海軍公報
海軍公報	海軍公報	海軍公報
Yerrill, A. H.—The ocean and its mysteries. N. Y. 1916.	海軍公報	海軍公報
— The book of the sailboat. N. Y. 1916.	海軍公報	海軍公報
Alger, P. R.—The groundwork of practical naval gunnery. Annapolis 1915.	海軍公報	海軍公報
Wheaton's Elements of international law. London 1916.	海軍公報	海軍公報
Scott, J. B.—The Hague conventions and declarations of 1899 and 1907. N. Y. 1915.	海軍公報	海軍公報
Sauveur, A.—The metallography and heat treatment of iron and steel. Cambridge 1916.	海軍公報	海軍公報
Huntington and McMillan.—Metals. London 1914.	海軍公報	海軍公報
Henley, S. I.—Twentieth century formulas, recipes and processes. N. Y. 1916.	海軍公報	海軍公報
Herbertson and Howarth.—The Oxford survey of the British Empire. Vol. III. Africa. Oxford 1914.	海軍公報	海軍公報
— Vol. IV. America. London 1914.	海軍公報	海軍公報
Grandall, S. R.—Testes. Their making and enforcement. Wash. 1916.	海軍公報	海軍公報
Welch, G. S.—The ship painter's handbook. London 1916.	海軍公報	海軍公報
Sykes, P. M., Lieut.-Colonel.—A history of Persia.	海軍公報	海軍公報

London 1916. 2 vol.	海軍公報	海軍公報
Morris, M. C.—The history of colonization. N. Y. 1906. 2 vol.	海軍公報	海軍公報
Freeman, Wm.—Awake! U. S. A. N. Y. 1916.	海軍公報	海軍公報
Kerrich, H. S.—Military and naval America. N. Y. 1916.	海軍公報	海軍公報
Scott, R. F., Captain, R. N.—The voyage of the "Discovery." London 1905. 2 vol.	海軍公報	海軍公報
Holmes, E.—The nemesis of docility. London 1916.	海軍公報	海軍公報
(海軍公報 海軍公報)	海軍公報	海軍公報
Leighton, R.—Dreadnoughts of the Dogger. A story of the war on the North Sea. London 1916.	海軍公報	海軍公報
Wheeler, M. F. B.—Stirring deeds of British sea-dogs in the great war. London 1916.	海軍公報	海軍公報
Bianchini et Colliard.—Péril national. Paris 1905.	海軍公報	海軍公報
Fournier, E.—La politique navale et la flotte française. Paris 1910.	海軍公報	海軍公報
Gray, E. M.—L'invasione tedesca in Italia. Firenze 1916.	海軍公報	海軍公報
Garuffa, E.—L'aviazione, Milano 1916.	海軍公報	海軍公報
Lingua e Boella.—L'aeroplano e il suo motore. Torino 1916.	海軍公報	海軍公報
Cei e Castagnetti.—L'aeroplano e il dirigibile. Torino	海軍公報	海軍公報

0825

1910.
Albertazzi, E.—Le “Pannes” Nei veicoli automobili
e nei motori d'aviazione. Torino, 1913.

海軍公報第千三百五號

大正六年二月六日

五

0826

海軍公報

第千三百六號

大正六年一月八日(月)

海軍大臣官房

○辭令

會計検査院副検査官正
六位勳五等法學博士
工藤 重義

海軍經理學校會計學教授ヲ囑託ス

但報酬月額參拾圓ヲ贈與ス

海軍經理學校英語學教授ヲ囑託ス 小柴 三郎

但報酬月額五拾圓ヲ贈與ス

海軍經理學校英語學教授囑託 高木 真一

自今報酬ヲ贈與セス(以上前海軍省)

○雜款

○在外武官轉居

英國駐在海軍少佐益子六彌ハ昨年十一月二十七日左ノ
通轉居セリ

93 Broadhurst Garden

West Hampstead

London N. W.

(注意) 英國駐在員宛ノ郵便物ニ限リ監督官事務所
氣付ニテ發送スルコト(公報第千二百十號附錄)
(在外武官官房所表参照)

海軍公報第千三百六號 大正六年一月八日

○電話架設

艦政局第一課長

新橋二三〇一

海軍大佐 河田 勝治

赤坂區氷川町十七番地

○虎列刺及「ベスト」發生狀況(五年十二月二十八日、六年一月六日及七日內務省衛生局報告ニ依ル)

(自大正五年十二月二十七日正午間報告到著ノ分)

虎列刺

府 縣 郡市名

新患者數

兵 庫 神戶市

二

大 阪 大阪市

一

高 知 安藝郡

一

福 岡 田川郡

一

久留米市

一

新患者合計

八

「ベスト」

府 縣 郡市名

有菌鼠

愛 知 愛知郡愛知町

一

同 知多郡半田町

一

同 山形新田

一

同 半田町出所不明

四

七

0827

十二月二十七日半田町出所不明
有菌鼠四頭報告

大阪 大阪市西區三軒家上ノ町

同 仲ノ町

同 西區灘波島町

同 天神橋筋四丁目

三重 四日市市內

合計

七
一一
一一
一一
三五

0828

海軍公報

第一千三百七號

大正六年一月九日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房第四一號
大正五年度歳入科目左ノ通追加ス
大正六年一月九日

海軍大臣 加藤友三郎

歳入經常部			
款	項	目	解 疏
(官業及官有財產收入)			
	(官有物貸下料)		
		船舶使用料	

○雜 款

○赴任
英國駐在仰付ラレタル海軍大佐横尾尙ハ來ル十六日午前八時三十分東京驛發同日午前十時横濱出帆ノ諏訪九

海軍公報第一千三百七號 大正六年一月九日

ニテ印度洋經由赴任ノ豫定

○葬儀

故海軍少將丹治寛雄葬儀ハ來ル十一日午後二時(途中葬列ヲ廢ス)青山齋場ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月八日內務省衛生局報告ニ依ル)

(自一月七日正午至一月八日正午間報告到著ノ分)

「ベスト」		虎列刺	
府縣	郡市名	府縣	郡市名
大阪府	西區灘波島町	福 岡	新患者合計
三重縣	四日市市内		
愛知縣	知多郡半田町		
合 計			
	有菌鼠數		新患者數
	一		一一
	一		一一
	一		三

九

0829

海軍公報

第千三百八號

大正六年一月十日(水)

海軍大臣官房

○通牒

大正六年一月十日

海軍省官報報告主任

關係各廳御中

官報原稿紙記載ニ關スル件

官報原稿ノ中購買、賣却等ニ關スル品名其他ハ必ス一件一行ト限リ記載相成度若シ原稿用紙印刷シアル爲メ餘白ナキ分ニ對シテハ其ノ品名ノミ別紙ニ認メラルルモ差支無之候
右通牒ス

○辭令

○大正六年一月九日

任海軍技手

給六級俸

任海軍技手

給月俸參拾七圓

(各通)

本野久太郎

野口正雄

田邊一雄

池谷増太

高橋和實

任海軍技手

給八級俸

任海軍技手

給月俸參拾貳圓

植田繁右衛門

(各通)

舞鶴海軍工廠附ヲ命ス

海軍技手 平野久太郎
同 植田繁右衛門

(各通)

海軍造兵廠附ヲ命ス(以上前海軍省)

海軍技手 野口正雄
同 田邊一雄
同 池谷増太
同 高橋和實

衣糧品研究調査事務ヲ囑託ス 海軍經理學校英語學教授囑託

但シ報酬月額八拾圓ヲ贈與ス(前海軍省)

依願免本官(前海軍省) 高木真一
海軍書記 村田 稔

○雜欸

○外國出張期日變更

海軍公報第千三百八號

大正六年一月十日

一一

0830

英國出張仰付ラレタル造船監督官海軍機關大佐池田岩三郎並造船兵監督會計官海軍主計中監淺野一男ハ一月二十二日午前十時十分東京驛發同日午後三時横濱出帆ノ日本丸ニテ米國經由渡英ノ豫定

○電話架設

海軍軍令部第一班第二課長 番町三〇〇二 海軍大佐 松下 東治郎

海軍軍令部第一班第一課長 芝三八四 海軍中佐 中村 良三 赤坂區青山北町六ノ四七

○ペスト及虎列刺發生狀況(一月九日內務省衛生局報告ニ依ル)

(自一月八日正午至一月九日正午) 間報告到著ノ分

府縣	郡市名	有菌鼠數
三重	四日市市内	一
愛知	知多郡半田町	一
	名古屋市西區新道町	一
	合計	四

府縣	郡市名	新患者數
大府	大阪府	二

福岡 門司市

遠賀郡 新患者合計

一一八一

○佐世保鎮守府軍醫長報告 一月九日佐世保市内戸尾町ニ男一名發病眞性虎列刺ト決定ス

海軍公報

第千三百九號

海軍大臣官房

大正六年一月十日(木)

○令達

官房第六四號

大正六年一月十一日

海軍大臣 加藤友三郎

鎮守府、艦隊司令長官殿

來ル三月一日ヨリ七日間ノ豫定ヲ以テ軍醫長會議相開キ候條鎮守府軍醫長艦隊軍醫長ヲシテ前日迄ニ本省ニ參集セシムヘシ
右訓令ス

○通牒

官房第六一號ノ二

京都御所、大宮、仙洞兩御所及二條離宮拜觀ノ儀ハ先般來差止ラレ居候處來ル十六日ヨリ從前ノ通拜觀被差許候旨其筋ヨリ通牒有之候
右通知ス

大正六年一月十一日

海軍省副官 大角 翠生

○辭令

(各通)

海軍中佐 井上伊之吉

海軍少佐 横尾 敬義

海軍少佐 増田 乙三郎

海軍機關中佐 竹崎 友吉

運用術航海術砲術水雷術等ニ關スル海軍用語調査委員ヲ命ス(前海軍省)
海軍大學校事務ヲ囑託ス 神代 種亮
但シ報酬月額貳拾五圓ヲ贈與シ部内限制任待遇トス(二十二年海軍教育本部)

○雜欸

○滯在地變更

海軍中尉宮崎清ハ吳ヨリ佐世保ニ、海軍少軍醫佐藤健一郎ハ吳ヨリ東京ニ滯在地變更ノ儀一月八日孰モ認許セラレタリ

○在外武官宿所

米國出張造兵監督官與倉機關中佐ノ宿所左ノ通

海軍公報第千三百九號 大正六年一月十一日

0832

Eng. Com. M. Yokura

1513 Madison Ave. Building

25 Madison Ave,

New York City,

N. Y.

U. S. A.

○正誤

昨日公報辭令中高橋和實・高橋和貫ノ誤

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月十日內務省衛生局報告ニ依ル)
(自一月九日正午間報告到着ノ分)

「ベスト」

府縣 郡市名 有菌鼠數

大阪 大阪市北區北同心町二丁目 一

同 南區夕陽橋派出所買收

愛知 知多郡半田町 二

合計 九

虎列刺

府縣 郡市名 新患者數

福岡 門司市 一

遠賀郡

新患者合計 六

0833

海軍公報

第千三百十號

海軍大臣官房

大正六年一月十二日(金)

○令達

官房第七七號

大正六年一月十二日

海軍大臣 加藤友三郎

各鎮守府司令長官殿

人事長會議ニ關スル件

本月三十日ヨリ五日間ノ豫定ヲ以テ本省ニ於テ人事長會議相開キ候條其ノ府人事長ヲ前日迄ニ著京セシムヘシ

右訓令ス

官房第七八號

大正五年度歳出科目歳出經常部軍事費ノ款衣糧費ノ項雜費ノ目雜件費ノ節解疏中「賄費」ノ次へ「報酬金」ヲ追加ス

大正六年一月十二日

海軍大臣 加藤友三郎

○雜款

海軍公報第千三百十號

大正六年一月十二日

○宿所

在香港海軍大尉野口厚ノ宿所左ノ通

Lieutenant A. Noguchi I. J. N.,

Tokyo Hotel,

Conant Road Central,

Hong Kong.

(Kaigun Hongkong)

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月十一日內務省衛生局報告ニ依ル)

(自一月十日正午間報告到著ノ分)

「ベスト」

府	縣	郡市名	有菌鼠數
三重	四日市市	三	三
愛知	知多郡半田町	四	一
合計			

虎列刺

府	縣	郡市名	新患者數
福岡	遠賀郡	二	二
合計			

海軍公報

第一千三百十一號

大正六年一月十三日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房第八六號

大正六年十二月海軍大學校甲種學生ヲ採用ス試験ハ同年四月中旬施行ノ豫定
試験規格左ノ如シ

- 一、甲種問題 一定ノ時間内ニ於テ答案ヲ徴スルモノトス
- 二、乙種問題 受験者ニ假スニ推敲ニ要スヘキ多少ノ時日ヲ以テシ其ノ答案ヲ提出セシムルモノトス

三、英文和譯

候補者ノ選抜ハ海軍大學校規則第七條及左ノ諸號ニ依ルヘシ但シ選抜表到達期ヲ大正六年三月二十日迄トス
一、大正六年三月二十日ニ於テ年齢三十三年未滿ノ者

- 二、海上勤務計算終期大正六年三月二十日
- 三、大正六年三月二十一日ニ於テ學生タラサル者

右告達ス

大正六年一月十三日
海軍大臣 加藤友三郎

官房第八七號

大正六年十二月海軍大學校乙種學生ヲ採用ス考試ハ同年四月中旬施行ノ豫定
考試規格左ノ如シ

- 一、雜 問 初級將校トシテ心得ヘキ實務上及學術上ノ事項
- 二、英文和譯 海軍兵學校修業程度但シ辭書ヲ用フルコトヲ得

候補者ノ選抜ハ海軍大學校規則第八條及左ノ諸號ニ依ルヘシ但シ選抜表到達期ヲ大正六年三月二十日迄トス
一、大正二年十二月一日ヨリ同三年十二月一日迄ノ間ニ於テ海軍中尉ニ任セラレタル者

二、大正六年三月二十一日ニ於テ學生タラサル者
右告達ス

大正六年一月十三日
海軍大臣 加藤友三郎

官房第八八號

大正六年十二月海軍大學校機關學生ヲ採用ス試験ハ同年四月中旬施行ノ豫定
試験規格左ノ如シ

海軍公報第一千三百十一號 大正六年一月十三日

一七

0835

一、平面解析幾何學(座標ヨリ普通ニ次)、微小數學(初等微積分)

二、英文和辭

三、機關學

四、職務ニ關スル事項

候補者ノ選抜ハ海軍大學校規則第十一條及左ノ諸號ニ依ルヘシ但シ其ノ選抜表到達期ヲ大正六年三月二十日迄トス

一、大正二年十二月以後ニ於テ海軍機關大尉ニ任セラルタル者

二、大正六年三月二十一日ニ於テ學生タラサル者
右皆達ス
大正六年一月十三日

海軍大臣 加藤友三郎

○辭令

製造部附ヲ命ス

海軍技手 野口 正雄

(各通)

海軍技手 田邊 一雄
同 池谷 増太

電氣部附ヲ命ス

海軍技手 高橋 和貫

検査官附ヲ命ス(以上ハ海軍造兵廠)

○雜款

○ベネト及虎列刺發生狀況(一月十二日內務省衛生局報告ニ依ル)
(自一月十二日正午間報告到着ノ分)

「ベネト」

府 縣 郡市名

有菌鼠數

三重 四日市市

二

愛知 桑名郡

一

合計 知多郡半田町

一

虎列刺 合計

四

府 縣 郡市名

新患者數

福 岡 郡市名

二

新患者合計

二

0836

海軍公報

第千三百十二號

海軍大臣官房

大正六年一月十五日(月)

○辭令

海軍軍令部編纂事務ヲ囑託ス 袖岡 喜三
但報酬月額金四拾圓ヲ贈與シ部内限リ判任待遇トス
(註海軍軍令部)

○雜欸

○軍艦沈沒
軍艦筑波昨十四日午後三時十五分横須賀軍港内ニ於テ
前部火藥庫爆發シ沈沒セリ(左舷十二度傾斜、艦橋以上
水面ニ露出)

○筑波死傷者

死者 中尉谷口融一、下士卒 七
行衛不明者 機關兵曹長月岡安太郎、上等兵曹
時田久七、全山下源治、船匠師鈴木
芳太郎、下士卒一五二

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月十三日內務省衛生局)
(自一月十三日正午間報告到著ノ分)

「ベスト」	府縣	郡市名	有菌鼠數
三重	重	四日市市	二
愛知	知	多郡半田町	一
合計			三

虎列刺	府縣	郡市名	新患者數
福岡	岡	遠賀郡	一
山口	縣	下ノ關港内	一
		新患者合計	二

0837

海軍公報

第千三百十三號

大正六年一月十六日(火)

海軍大臣官房

○ 辭令

海軍機關中佐 松原 彦七
 第一課兼第二課勤務ヲ命ス(前海軍省軍務局)
 海軍上等兵曹 能城 治助
 検査官附ヲ命ス(前海軍造兵廠)

○ 雜款

○「ペスト」及虎列刺發生狀況(一月十五日內務省衛生局報告ニ依ル)
 (自一月十三日正午至一月十五日正午 間報告到着ノ分)

府縣	郡市名	有菌鼠數
大阪	北區北同心町二丁目	六
三重	四日市市	三
	桑名市	一
愛知	愛知郡愛知町出所不明	一
	知多郡半田町	四
合計		一五

虎列刺

大府

阪縣

郡市名
大阪市
新患者合計

新患者數
一一

海軍公報第千三百十三號

大正六年一月十六日

三一

0838

海軍公報

第千三百十四號

海軍大臣官房

大正六年一月十七日(水)

○通牒

軍第二三號ノ二

大正六年一月十七日

海軍省軍務局長 井出 謙治

鎮守府、要港部參謀長殿

第一、第二、第三艦隊

汽船「トロール」漁業廢業ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局長ヨリ通知アリタ

右通牒ス

許可番號	船名	廢業年月日	記事
第百六十三號	清丸	大正五年十一月廿三日	大正二年二月公報第一六八號參照
第五十一號	第二博多丸	大正五年十二月八日	明治四十四年九月軍第四〇三號ノ二參照
第五十五號	第三博多丸		全 明治四十四年十月軍第四六二號ノ二參照
第五十六號	第二福博丸		全 明治四十四年十月軍第四六六號ノ二參照
第五十七號	第三福博丸		全 明治四十四年十一月軍第四八〇號ノ二參照

海軍公報第千三百十四號

大正六年一月十七日

第五十八號	第五博多丸	全 明治四十四年十一月軍第四八六號ノ二參照
第六十二號	第六博多丸	全 明治四十四年十一月軍第五一〇號ノ二參照
第六十四號	第五福博丸	全 明治四十四年十二月軍第五一六號ノ二參照
第七十號	第七博多丸	全 明治四十四年十二月軍第五四一號ノ二參照
第一百四十號	第八福博丸	全 大正元年十二月公報第一〇二號參照
第一百四十八號	第十福博丸	全 大正元年十二月公報第一一七號參照
第一百六十一號	第八博多丸	全 大正二年二月公報第一五三號參照
第一百七十九號	石城丸	全 大正三年五月公報第五三〇號參照

○辭令

海軍上等兵曹 藤田 健治

退役ヲ命ス(前海軍省)

○雜款

0839

○葬儀
昨十六日飛行機顛覆ノ爲メ死歿セル海軍中尉山村豊雄ノ葬儀ハ明十八日午後一時横須賀水交支社ニ於テ神式ニ依リ海軍葬儀執行

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月十六日內務省衛生局報告ニ依ル)

(自一月十五日正午至一月十六日正午間報告到着ノ分)

「ベスト」

府	縣	郡市名	有菌鼠數
三重	四日市市		二二
合計			

虎列刺

府	縣	郡市名	新患者數
福岡	遠賀郡		二
佐賀	小城市		一
大阪	北多村		四
合計			七

0840

海軍公報

第一千三百十五號

大正六年一月十八日(水)

海軍大臣官房

○令達

官房第一四八號

購買名簿中左ノ通追加ス

大正六年一月十八日

海軍大臣 加藤友三郎

隨意契約ノ部二十二ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス

二五ニ美 唄 炭 三菱合資會社 東京市 同 同

○辭令

海軍大學校化學教授助手 囑託

高橋 藤平

依願解囑託(前々海軍教育本部)

○雜欸

○葬儀
故海軍中尉谷口謙一以下筑波殉難者ノ葬儀ハ來二十一日午後二時横須賀海軍下士卒集會所ニ於テ海軍葬儀執行

海軍公報第一千三百十五號 大正六年一月十八日

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月十七日內務省衛生局報告ニ依ル)

(自一月十六日正午間報告到著ノ分)

「ベスト」

府 縣 郡市名

愛知 知多郡成岩町

三重 三重郡八郷村

合計

有菌鼠數

二

一

三

虎列刺

府 縣 郡市名

大阪 大阪市

福岡 遠賀郡

新患者合計

新患者數

(保菌者) 一

二

二五

0841

海軍公報

第千三百十六號

大正六年一月十九日(金)

海軍大臣官房

○辭令

檢閱

後備役ヲ命ス(明海軍省) 海軍上等兵曹 月岡久次郎

電氣部附ヲ免シ製造部附ヲ命ス(明海軍造兵廠) 海軍技手 田邊一雄

○雜欸

○「ペスト」發生狀況(一月十八日內務省衛生局)

(自一月十七日正午 至一月十八日正午 間報告到着ノ分)

「ペスト」

府縣	郡市名	有菌鼠數
三重	四日市市	二
愛知	名古屋市中區禰宜町	一
	知多郡半田町	二
合計		五

○改姓

海軍機關大尉中西德助ハ東京府平民淺古家ニ入籍ノ旨
一月十二日届出タリ

海軍公報第千三百十六號

大正六年一月十九日

二七

0842

海軍公報

第千三百十七號

海軍大臣官房

大正六年一月二十日(土)

○ 辭令

海軍監獄看守ヲ命ス 勳七等 池田 繁治
月俸拾貳圓ヲ給ス

海軍監獄看守 池田 繁治
橫須賀海軍監獄附ヲ命ス(以上前海軍省)

海軍技術本部附兼造船監督助手ヲ免シ橫須賀海軍工廠
附ヲ命ス(前海軍技術本部)
海軍技手 淺羽 卯之吉

○ 雜款

○ 電話架設

海軍省軍務局長
中野 一〇 海軍少將 井出 謙治
府下中野町字大塚一五九八

○ 正誤

昨十九日辭令中海軍上等兵曹ハ海軍上等機關兵曹ノ誤

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月十九日內務省衛生局
報告ニ依ル)

「ベスト」(自一月十八日正午間報告到着ノ分)

府縣	郡市名	有菌鼠數
三重	四日市市	二
愛知	知多郡半田町	一
合計		三

虎列刺	郡市名	新患者數
府縣	郡市名	
大阪	大阪市	二
合計		二

○ 死亡
海軍技手勳七等小柳熊吉ハ一月九日死亡セリ

海軍公報第千三百十七號 大正六年一月二十日

二九

0843

海軍公報

第千三百十八號

海軍大臣官房

大正六年一月二十二日(月)

○令達

官房第一七九號

今般東京ニ於テ臨時海軍軍樂講習ヲ施行ス左記ニ依リ其ノ所轄ノ儘講習員ヲ東京海軍軍樂隊派遣所ニ派遣ス

大正六年一月二十二日

海軍大臣 加藤友三郎

- 一、講習員 鎮守府麾下各軍樂長(又ハ軍樂師一)
- 二、著所期日 大正六年二月末日
- 三、講習期間 約三週間

○通牒

官房第一八〇號

大正六年一月二十二日

海軍次官 鈴木貫太郎

各廳長殿

艦裝員赴任出張ニ關スル件
海軍工廠以外ノ地ニ於テ製造スル艦船ノ艦裝員長、艦

裝員又ハ艦裝員附ヲ命免セラレタル者ハ特令ナキ限リ前勤務地ヨリ直ニ艦裝地ニ出張シ又ハ艦裝地ヨリ直ニ新任地ヘ赴任スル義ト承知相成度

右通牒ス

追テ直接艦裝地ニ出張スル者ノ旅費ハ何分ノ申出ナキ限リ艦裝地ヘ向ケ送金ノ等ニ付特ニ前任地ヘ送金ヲ希望スル場合ハ出發時日ヲ豫定シ其ノ旨經理局ヘ請求セシメラレ度

經調第一五號

大正六年一月二十二日

海軍省經理局
海軍省艦政局

各關係艦船 御中

新嘉坡ニ於ケル炭價値上ノ件

大正五年四月一日三井物産株式會社ト契約(五年四月四日海軍公報第一〇八五號參照)ノ新嘉坡艦船渡田川四尺塊炭ハ今般左ノ通炭價値上ノコトニ協定候ニ付御了知相成度
右通牒ス

海軍公報第千三百十八號

大正六年一月二十二日

三一

0844

協定書

大正五年四月一日契約ノ新嘉坡ニ於ケル船船渡第二種和炭ハ一般炭價騰貴ニ付契約書第三條ニ依リ價格ヲ左ノ通更改シ大正五年十二月一日以降供給ノ分ヨリ之ヲ適用スルモノトス

新嘉坡棧橋横付舷側渡 壹噸ニ付金參拾壹圓五拾錢
同 沖積舷側渡 壹噸ニ付金參拾貳圓參拾錢
右協定ス

大正五年十二月一日

海軍省經理局長 志佐 勝
東京市日本橋區駿河町壹番地
三井物産株式會社 三井源右衛門
代表取締役社長

○雜款

○出發

露國大使館附七田海軍中佐ハ來一月二十七日午後四時東京驛出發赴任ノ豫定

○「ハスト」及虎列刺發生狀況(一月二十日內務省衛生局報告ニ依ル)

(自一月十九日正午至一月二十日正午間報告到著ノ分)

府 縣 郡市名 有雨員數
大 阪 大阪市北區天滿橋筋西四丁目 一

三重 四日市 合計

虎列刺

愛山府 媛口縣

郡市名 下關港内 西宇和郡 新患者合計

新患者數

0845

海軍公報

第千三百十九號

大正六年一月二十三日(火)

海軍大臣官房

○辭令

海軍技手 福島 金二
第五部附ヲ命ス(前)海軍技術本部)

○雜款

○電話架設
海軍教育本部長
芝四四〇六番 海軍中將 有馬 良橘
芝區高輪車町五四

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月二十二日內務省衛生局)
(自一月二十日正午間報告到着ノ分) (至一月二十二日正午間報告到着ノ分)

「ベスト」
府縣 郡市名 有菌鼠數
愛知 知多郡半田町 一
三重 四日市市 一
大阪 大阪市北區天滿橋筋 三
合計 三

虎列刺

府縣 郡市名
山 大 兵 福 岡 縣
口 分 庫 岡 縣

新患者數
遠賀郡
尾ヶ崎市
下毛郡
下關港
豐浦郡
新患者合計

新患者數

六二一

海軍公報第千三百十九號 大正六年一月二十三日

三三

0846

海軍公報

第千三百二十號

海軍大臣官房

大正六年一月二十四日(水)

○辭令

○大正六年一月二十三日

任海軍書記

鹽崎 鹿造

給月俸參拾貳圓

田中 宮次
大庭 平一

(各通)

任海軍技手

給月俸參拾貳圓

舞鶴海軍工廠附ヲ命ス

海軍書記 鹽崎 鹿造

(各通)

同 海軍技手 田中 宮次

吳海軍工廠附ヲ命ス(以上ヲ認海軍省)

福地 茂樹

海軍大學校化學教授助手ヲ囑託ス但シ報酬月額參拾五圓ヲ贈與シ部内限制待遇トス(以上認海軍教育本部)

○雜款

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月二十三日內務省衛生局報告ニ依ル)

(自一月二十三日正午間報告到著ノ分)

「ベスト」

府 三 重 縣 郡市名 四日市市 三重郡三重村

合計

有菌鼠數

二一一

虎列刺

府 大 阪 縣 郡市名 大坂市 神戸市 尼ヶ崎市 下ノ關市 北宇和郡 新患者合計

新患者數

五一一一一

海軍公報第千三百二十號

大正六年一月二十四日

三五

0847

海軍公報

第一千三百二十一號

大正六年一月二十五日
海軍大臣官房

○令達

官房第二一八號

來ル三十日孝明天皇五十年式年祭ニ付式部長官ヨリ通知ノ次第モ有之候條當日在京諸官ハ左ノ通心得ヘシ

一、午前九時四十分賢所參集所へ參集スヘキ者

親任官、高等官一等、高等官二等

一、正午十二時ヨリ午後一時迄ニ參拜スヘキ者

奏任官同待遇並判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

一、午後一時ヨリ午後二時迄ニ參拜スヘキ者

判任官同待遇ニシテ位勳ヲ有セサル者

服装 正裝

大正六年一月二十五日

海軍大臣 加藤友三郎

海軍大臣 加藤友三郎

官房第二一九號

明治四十四年一月官房第九一號艦管需品主計長主管貸

與品發待用特種洋食器取扱手續中左ノ通改正ス

大正六年一月二十五日

海軍大臣 加藤友三郎

第一項ヲ左ノ如ク改ム

一、各海軍工廠需品庫ニ於ケル本品ノ定數ヲ左ノ通定

橫須賀海軍工廠需品庫

二十組

吳、佐世保海軍工廠需品庫

各二組

舞鶴海軍工廠需品庫

一組

第三項ヲ左ノ如ク改ム

三、本品ハ橫須賀海軍工廠需品庫ヨリ貸與スルヲ例ト

ス但シ特ニ至急ヲ要シ海軍大臣ニ於テ認許シタル

トキハ他ノ海軍工廠需品庫ヨリ貸與スルコトヲ得

第九項中「所屬海軍工廠長ヲ經テ」ノ下ニ「所管長官ニ

提出シ所管長官ハ之ヲ海軍大臣ニ進達スヘシ」ヲ加フ

第十項ヲ左ノ如ク改ム

十、前項ノ報告ハ左記書式ニ依ルヘシ

書式甲

(用紙美濃紙)

大正 年月日

某海軍工廠需品庫兵備品會計官東某

年月日通達

所管長官宛

大正 年月日 關特種洋食器現況報告

海軍公報第一千三百二十一號

大正六年一月二十五日

三七

0848

(自一月二十三日正午
至一月二十四日正午間報告到着ノ分)

「ベスト」

府 縣 郡市名 有菌鼠數
愛知 名古屋市中區水主町 一一

知多郡半田町 二

虎列刺

府 縣 郡市名 新患者數
福山 豐浦郡 一一二
岡口 豫賀郡 三

新患者合計

海軍公報第千三百二十一號 大正六年一月二十五日

三九

0850

海軍公報

第千三百二十二號

大正六年一月二十六日(金)

海軍大臣官房

○辭令

○大正六年一月二十五日

任海軍技手

樋口 吉松

給七級俸

任海軍技手

遠藤 彦吉

給八級俸

任海軍技手

大久保 隆式

給月俸參拾貳圓

任海軍技手

古山 英吉

給月俸貳拾七圓

任海軍技手

樋口 吉松

(各通)

海軍技術本部勤務兼造船監督助手ヲ命ス

同 遠藤 彦吉

海軍技術本部勤務ヲ命ス

同 大久保 隆式

海軍技術本部勤務ヲ命ス

同 古山 英吉

海軍書記

佐藤 孫市

海軍技手

志知 勇次

依願免本官

山口 哲太郎

海軍軍令部編纂事務囑託ヲ解ク(以上正官海軍省)

○雜欸

○虎列刺發生狀況(一月二十五日內務省衛生局報告ニ依ル)

(自一月二十四日正午間報告到着ノ分)

虎列刺

府 縣

大 阪

山 口

福 岡

郡市名

大阪市

下關港

若松港

新患者合計

新患者數

二

二

一

五

海軍公報第千三百二十二號

大正六年一月二十六日

四一

0851

海軍公報

第千三百二十三號

海軍大臣官房

大正六年一月二十七日(土)

○通牒

官房第二五四號

大正六年一月二十七日

海軍次官 鈴木貫太郎

在京各廳長殿

本月三十日孝明天皇五十年式年祭ヲ行ハセラルレ在京諸官 賢所參拜ニ付當日緊急事務ニ差支ナキ限リ各廳ニ於テ休務セシメラレ差支無之候 右依命通牒ス

○辭令

海軍技手 樋口 吉松

(各通)

同 遠藤 彦官

同 大久保 隆弼

同 古山 英吉

第五部勤務ヲ命ス(其詳海軍技術本部)

○雜款

○電話架設

海軍公報第千三百二十三號

大正六年一月二十七日

番町五五七七

技術本部第五部長
海軍機關中將 中島與會八
豊多摩郡西大久保九二

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月二十六日內務省衛生局
報告ニ依ル)

(自一月二十五日正午間報告到著ノ分)

「ベスト」

府 縣 郡市名 有菌鼠數
大阪 縣 郡市名 大阪市南區難波東神
田町巡查派出所買收

三 重 市 三 重 郡 海藏村
四日市市

合計 四

虎列刺

新患者數

府 縣 郡市名
山 府 郡市名 下關港
愛 媛 縣 北宇和郡
福 岡 縣 新患者數

(終)

四三

0852

海軍公報

第一千三百二十四號

大正六年一月二十九日(月)

海軍大臣官房

○雜款

○滯在地變更

海軍中將上村翁輔ハ東京ヨリ横須賀ニ滯在地變更ノ儀
一月二十五日認許セラレタリ

○「ペスト」及虎列刺發生狀況(一月二十七日內務省衛生局
報告ニ依ル)

(自一月二十六日正午間報告到著ノ分)

「ペスト」

府 縣

郡市名

有菌鼠數

三 重

四日市市内

五

合計

五

虎列刺

府 縣

郡市名

新患者數

山 口

下ノ關市

三

新患者合計

三

海軍公報第一千三百二十四號

大正六年一月二十九日

四五

0853

海軍公報

第千三百二十五號

海軍大臣官房

大正六年一月三十一日(水)

○通牒

官房第二八八號

大正六年一月三十一日

海軍省副官 大角 岑生

在京各廳長殿

天皇皇后兩陛下來ル二月二日東京御發着神奈川縣下葉山へ行幸行啓可被爲在候ニ就テハ御發着時刻等左ノ通
ニ有之候
右爲念通知ス
東京驛御發車

二月二日午前九時四十分

奉送者服裝 通常禮裝

追テ親任官同待遇一同、勅奏任官總代及勤務ニ差支

ナキ高等武官文官一同奉送ノコト(大正四年官房第

二六三五號ノ二百十四號掲載參照)

○雜款

○總代

天皇皇后兩陛下來ル二月二日午前九時四十分神奈川縣

海軍公報第千三百二十五號

大正六年一月三十一日

下葉山へ行幸行啓ニ付同日總代トシテ東京停車場ニ於テ奉送スヘキ旨左記諸官へ通達セラレタリ
勅任官總代 海軍少將 森 義臣
奏任官總代 海軍大佐 松下 東治郎

○「ベスト」及虎列刺發生狀況(一月二十九日、同三十日)

(自一月三十一日正午間報告到著ノ分)

「ベスト」

府 縣 郡市名

愛知 愛知郡愛知町

大字目置

知多郡半田町

三重 三重郡海藏村

四日市市

合計

虎列刺 縣 郡市名

長崎 壹岐郡

西彼杵郡

安藝郡

患 者 有菌鼠數

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

新患者數

七

五

五

四七

0854

山口 下關市	大津郡	福岡 小倉港	新患船合計	一〇—三〇
(以下は表の本文部分であり、文字が非常に小さく読み取れない)				

0855